

冷や水編

(妻の小言)いい年してそんな若つくりするから風邪をひくのよ!

風邪をひき 言われる小言 おのれのみ くだらぬ薄着 おもふからだど

48 風をいたみ 岩うつ波のおのれのみ くだけてものを おもふころかな 源重之

(妻) あなた顔色が悪いわよ なんか無理しているじゃないの

しのべども 顔に出にけり わが疲れ 無理禁物と 人がいふまで

40 しのぶれど いろにいでにけり わがこひは ものやおもふと ひとのとふまで 平兼盛



(独白) 孫と駆けっこ? そんな子供に負けるわけない あ だめか 持久力がなくなったなあ

なにくそと 短き足で 競争も あわや 子供に すぐに抜かれそう

19 難波潟 みじかき葦の ふしの間も 逢はでこの世を 過ぐしてよとや 伊勢

頭髮編

(独白)鏡見ると随分薄くなったな 友達のなかで一番早く禿になりそうだなあ

髪見れば 薄くなるこそ 悲しけれ わが身ひとりの ことであるけど

23 月みれば 千々にもこそ 悲しけれ わが身ひとつの 秋にあらねど 大江千里

(独白)くそ! この薬も駄目か折角努力したのに無駄となった。もう神は再び髪を与えてくれないのか

棒にふる 薬も効かず 禿治療 かみ(髪 神)くれないと みつかれるとは

17 ちはやぶる 神代もきかず 龍田川 からくれなゐに 水くるとは 在原業平

経年変化編(続)

(独白) なに もうもてないだろうて またまだ これでももてるはずだ

もてること 絶えて久しく なりぬれど 過去の流れて なほ過信持ち

55 たきのおとは たえてひさしくなりぬれど なこそながれて なほきこえけれ 大納言藤原公任

放浪編(続)

あ あのお年寄りですか さっき踏切を渡っていきましたよ どちららにいったかですか それはわからないなあ

ゆらゆらと 渡る踏切 どこへ行く 行方もしらぬ 彼の道かな

46 由良のとを 渡る舟人 かじをたえ 行方もしらぬ 恋の道かな 曾禰好忠

小式部内侍応用編

(独白)結構いい歳になってきたければ、まだまだ頑張るぞ

あの世へと いくのの道も 遠ければ まだ踏みもせず 三途の河原

いろいろあって遠出は難しい

例会へ いくのの道も 遠ければ まだ顔もみず サロンメンバー

60 大江山 いくのの道も 遠ければ まだふみもみず 天の橋立 小式部内侍

シルバー狂歌・・・不快に思う人がいれば深謝します